

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年4月2日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	魚沼市 (15225)
地域名 (地域内農業集落名)	全域 (小出島他137農家組合)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	4,188 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	3,618 ha
② 田の面積	2,961 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	657 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	779 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	550 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	1,533 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	863 ha
(備考)⑤は耕作放棄地の発現縮小のため、意向調査による「規模縮小(離農含む)」の農地において狭小農地(3割を想定)を除いた面積を拡大意向面積とした。	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・農業者が減少(販売農家▲100/年)する中で規模拡大が遅れており、条件不利地を中心に農地の荒廃が進展。
- ・農業者の年齢構成から今後リタイアする者が従来以上に増加し、山間地域を中心に耕作放棄地が急速に拡大することが懸念される。
- ・このため経営体を中心に多様な担い手も含めて地域の農地を集積・集約することで、農地の荒廃を最大限に抑制していく必要があり、行政や関係団体の支援と合わせて、地域における担い手の認知と、地主・非農家等も含めた支援体制の確立等について合意形成を進めていくことが必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・米については食味・品質の確保を最優先に、高付加価値化などブランド米産地としてのさらなる評価獲得を推進。
- ・全国有数の評価を得ているユリについては、法人化等経営体質強化を進め、さらなる産地強化を図る。
- ・多雪地で冬季の露地栽培ができないことから、春から秋の間で、なす、スイカ、カリフラワー等の露地栽培を進めるとともに、山菜の株養成を拡大し、冬季間の促成出荷拡大を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

担い手のみならず、農地の出し手農家も含めて、担い手経営体の経営発展、経営の継続性確保に資するよう地域(集落)の合意形成を図るとともに、地域における利用調整の仕組みづくりを進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	60 %	将来の目標とする集積率	90 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

圃場整備の営農計画策定や、農用地の利用調整の仕組みづくり等を通じて、30a区画以上の地区は1ha、30a区画未満の地区は50a程度以上の連坦化が図られるよう進めていく。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	1 大栃山共同防除組合	播種、肥料・農薬散布	水稻
2	2 藪神ドローン組合	農薬散布	水稻
3	3 長松お助け隊	播種、肥料・農薬散布	水稻
4	4 魚沼Sky Team	農薬散布	水稻
5	5 株式会社 さかなとねこ	農薬散布・測量、生育診断、草刈り	水稻、露地野菜
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			